

クラス番号	611	担当教員名	奥田 亜由子
テーマ	高齢者福祉分野におけるソーシャルワークとケアマネジメント		
著書・論文 研究課題等	「達人ケアマネ」『効果的なモニタリングの仕方と観察・聴き方のテクニック』日総研 2008年 「月刊ケアマネジャー」 『ケアプランの書き方・考え方 国際生活機能分類（ICF）の枠組みを使い、本人の強みを生かす』中央法規出版 2009 年 「高齢者虐待防止研究」『男性による高齢者虐待；なぜ虐待するのか』高齢者虐待防止学会 2010年、「ケアマネジメントの実務」共著 新日本法規・「ケアマネジメント実践事例集」第一法規・「施設ケアプラン事例集」共著 日総研 2011 年：研究課題「介護支援専門員のOJTとOFFJTの実態と展開」「スーパービジョン実践のあり方」		

ゼミナール概要

キーワード：ケアマネジメント・高齢者福祉分野・ソーシャルワーク

目的、内容、方法等：日本の地域福祉の流れの中で、初めてケアマネジメントが位置づけられたのが、1990年から始まった在宅介護支援センターの相談事業の中である。それは、だれもが通る高齢者の過程での介護問題が社会化され、地域での在宅介護支援のための専門相談機関が必要とされたからである。ソーシャルワーカーとして初めて国家資格である社会福祉士の設置がされ、社会福祉士は地域での生活を継続するためのケアマネジメントを駆使し、生き生きと働き始め、新たなソーシャルワーカーの役割を実践することが日本各地で行われた。その流れがケアの専門相談員の看護師、保健師等の医療職とともにケアマネジメント技術をもった相談員として発展することとなり、2000年開始の介護保険制度のケアマネジャー（介護支援専門員）の基礎となったと考えられる。現在、介護保険制度の中で、ケアマネジャーという専門職がケアマネジメントを担っている代表の職種と認知されてきている。それぞれの国家資格等の実務経験5年以上が必要であるが、都道府県においての試験と実務研修のみで実務につき、ケアマネジメントに必要な教育が体系的に受けられていないことが実践においてのケアマネジャーの質に影響を及ぼしているのが現状である。さらに地域包括支援センターに配置されている主任介護支援専門員（ケアマネジャー実務経験5年以上かつ研修修了者）の質につながり、ケアマネジメントの経験の少ない社会福祉士との連携がすまぬ状況がある。

このゼミでは、学生のうちに、高齢者福祉等で必要なケアマネジメントの知識と技術を身につけ、社会福祉士取得したソーシャルワーカーとしてケアマネジメントを実践できる専門職になることを目指す。

授業計画：使用テキスト「ケースマネジメント入門」デイビッドP. マクスリー著 中央法規

1. 3年前期は、大学に入学した動機や大学で学べた内容、将来に向けての自分の学習課題をゼミの中でまとめ、テキストを中心にケアマネジメントについての知識を学んでいく。実習での自分の学ぶべき内容を明らかにし、ゼミとリンクさせる。
2. 3年後期は、実習体験を踏まえ、ケアマネジメントの必要な高齢者福祉施設や事業所、ケアマネジャーのいる現場へ個々に出向いてヒアリングや同行体験をする。卒業論文の課題を整理し、文献・論文を収集する。
3. 4年前期は、卒業論文のテーマについて、調査研究を実施し、論文を作成していく。
夏休みは、ゼミ合宿をし、卒業論文と国家試験対策を行います。
4. 4年後期は、卒業論文をゼミでまとめられるようにするとともに、社会福祉士の国家資格の勉強にもあてていく。ゼミの中で、社会福祉士、または介護支援専門員に必要な知識の勉強会を開催する。

担当教員からのメッセージ



日本福祉大学に入学し、学んできた自分自身の生きる力となるようなゼミでの学びにしていきたいと考えています。それぞれの個性や主体性を生かして、卒業する頃には、自信を持って、ソーシャルワーカー・社会福祉士として社会に出ていくことができるように支援していきます。就職についての進路相談にも個別にしっかりと応じます。ゼミの仲間を大事にし、コンパや合宿を自分たちで企画し、楽しい学生生活にいきましょう。卒論は必須とし、決めたことは実行する責任感のある学生を求めます。